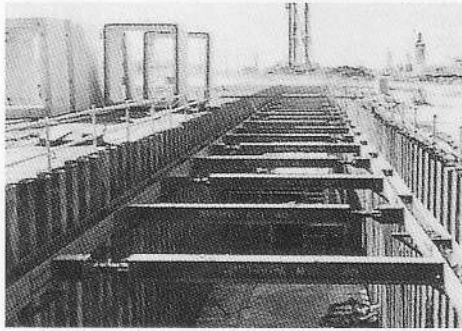


土木用高弾性2成分型ポリウレタン系シーリング材



ボンドUPシール#700

〈高耐水圧タイプ〉

UPシール#700は、高背水圧部分のシーリング材として開発された特殊シーリング材です。使用目地部の振動・伸縮に追従するとともに、すぐれた水密・気密効果を発揮する常温反応硬化型の2成分型ポリウレタン系弾性シーリング材です。特に強じんなゴム弾性を示す為、コンクリート打継ぎ目地、ボックスカルバート・導水路等、各種目地に適した耐水圧性に優れたシーリング材です。

■用途

- 隧道、橋梁等、各種コンクリート構造体の打継ぎ・誘発目地
- ヒューム管のジョイントシール
- ボックスカルバートジョイントシール
- 防火貯水槽のジョイントシール
- 組立式・構築式地下貯蔵庫のジョイントシール

■特長

- 強じんなゴム弾性を持っています。
- 目地の伸縮に長時間追従できます。
- 背水圧のかかる地下埋設構造体の目地に使用できます。
- 硬化による体積収縮がほとんどありません。
- 専用プライマーの使用により、各種被着材に強固に接着します。
- 合理的なカラーマスター方式です。

■適用プライマー

項目	ボンドUPシールプライマー	#1	#7	#9
タイプ		1液型	1液型	1液型
外観		淡黄色透明液体	淡黄色透明液体	淡黄色透明液体
組成	樹脂	ウレタン樹脂系	ウレタン樹脂系	ウレタン樹脂系
	溶剤	酢酸エチル、キシレン	酢酸エチル、酢酸ブチル	酢酸エチル、酢酸ブチル
比重 (23℃)		1.00±0.02	1.00±0.05	0.98±0.05
粘度 (mPa·s/23℃)		50以下	50以下	50以下
揮発分 (%)		37±3	33±3	35±3
乾燥時間	5℃	60分	60分	60分
	23℃	30分	30分	30分
	35℃	15分	15分	15分
シーリング材の充填時間 (23℃)		乾燥後から8時間	乾燥後から8時間	乾燥後から8時間
開封後の処理 (不使用時密栓)		当日内に使い切る	当日内に使い切る	当日内に使い切る
有効期間 (冷暗所貯蔵)		6ヵ月	6ヵ月	6ヵ月
包装容量		1kg缶入	500g缶入	500g缶入
		(12缶/ケース)	(12缶/ケース)	(12缶/ケース)
用途		コンクリート、モルタル	汎用	汎用
備考		直射日光により黄変しますのでプライマーのはみ出しに注意。		

■性状・性能

(JIS A 5758及びJIS A 1439に基づく試験結果)

項目	ボンドシーリング材		ポリウレタン系			
	UPシール#700		UPシール#700			
外観	基剤	液状				
	硬化剤	ペースト状				
	カラーマスター	ペースト状				
混合比(質量)	基剤:硬化剤:カラーマスター	100:300:8				
JIS A 5758	クラス	F-25LM				
	スランブ (50℃、mm)	縦	0			
		横	0			
	弾性復元率 (%)	23℃	94			
-20℃		0.5				
引張応力 (N/mm ²)	23℃	0.4				
	-20℃	0.5				
体積損失 (%)		0.2				
耐久性		8020				
JIS A 1439	可 使 時 間 (時間)	製造月	10~3	4~9		
		5℃	3	—		
		23℃	1.5	3		
		35℃	—	1		
タックフリー (時間)	5℃	24以内	—			
	23℃	12以内	18以内			
	35℃	—	8以内			
比 重		1.35				
押し出し性 (5℃、秒)		3				
引張接着性	被着体	条件	応力・伸び	50%引張応力 (N/mm ²)	最大引張応力 (N/mm ²)	最大荷重時の伸び (%)
	加熱後	-10℃	0.54	4.93	660	
		23℃	0.29	1.44	860	
	水浸せぎ後	-10℃	0.34	3.40	900	
		23℃	0.38	1.37	690	

※表中の数値は標準値を示しています。数値は規格値ではありません。

■施工方法

- ① 事前検討
- ② 目地の状態の確認
- ③ 目地の清掃
- ④ バックアップ材の装てん
- ⑤ マスキングテープはり
- ⑥ プライマーの塗布
- ⑦ シーリング材の混合
- ⑧ シーリング材の充てん
- ⑨ ヘラ仕上げ
- ⑩ マスキングテープの除去
- ⑪ 清掃
- ⑫ シーリング材の養生

- 目地の納まり（形状・寸法、二次排水処理、施工条件など）を充分に調査してください。
 - 材料、プライマー、副資材を選定し、施工要領書を作成してください。
 - 所定の目地形状・寸法で段差がないようにしてください。
 - 被着面は充分に養生期間がとられていて、ジャンカ、欠け、亀裂などの欠陥部分がないことが必要です。
 - 被着面は充分に乾燥させてください。
 - サビ、油分、ほこり、モルタルくず、塗料など、接着を阻害するものを取り除いてください。
 - ウェスで拭きした後、溶剤で清掃してください。溶剤には、通常メチルシクロヘキサンもしくはMEKを使いますが、被着面が溶解する場合はノルマルヘキサンを使ってください。
 - 目地の状況に応じ、適切なバックアップ材を使用してください。
 - バックアップ材を装てんする場合、所定の位置にねじれ・段差・継ぎ目・傷などがないように注意してください。
 - マスキングテープの粘着剤が被着材に転着しないものを使用してください。
 - 被着面に食い込まないように、かつ目地縁線に沿うように、注意してはり合わせてください。
 - 適合するプライマーの品名を確認して使用してください。
 - 塗りむらや塗り残しがないように、ハケで充分に塗布してください。吸い込みの多い場合は、2度塗りまたは3度塗りを行ってください。
 - プライマーの乾燥後は、所定時間内にシーリング材を施工してください。
 - シーリング材専用混合機械で混合してください。
 - 基剤・硬化剤・カラーマスターを全量投入し、均一になるまで10分以上混合してください。
 - 未混合になりやすい混合容器の壁、底部および攪拌翼などの部分は、かき落したのちに再度、練り込んでください。
 - 混合したシーリング材は、可使時間内にコーキングガンを使って目地へ充てんしてください。
 - 目地底にコーキングガンのノズルを当て、ゆっくりかつ充分に充てんしてください。
 - シーリング材の充てん後は、すみやかにヘラ仕上げを行ってください。
 - 目地幅にあったヘラで、充分に押さえながら平滑に仕上げてください。
 - ヘラ仕上げが終わったら、すみやかにマスキングテープを除去してください。
- ※シリコン系シーリング材との同時施工は避けて下さい。

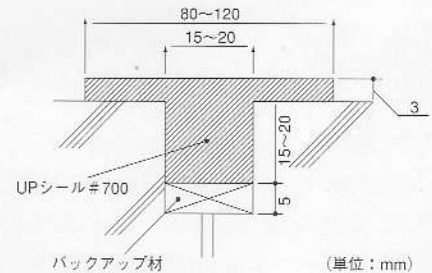
■標準施工量

UPシール#700 1kg当たりの概算施工メーター数

目地深さ \ 目地幅	15mm	20mm	25mm	30mm
15mm	2.2	1.7	—	—
20mm	—	1.3	1.0	0.8
25mm	—	—	0.8	0.7

※数量には約30%のロスを含んでおり、状況に応じて増減する場合があります。

●ボックスカルバートの目地形状・寸法例



■色調

標準色：ホワイト、グレー、ダークグレー、ニューアイボリー、アンバー、ブロンズ、ブラック、ライトグレー、ステンカラー（必ずシールカラーマスターをご使用ください。）

■梱包容量

●UPシール#700:8kg (6L) セット……2セット入1ケース(カラーマスターは入っていません。別途ご注文ください。)

■注意事項

本品は皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれ、中毒やその他の健康障害を起こす恐れがあります。下記の注意事項を守って取り扱ってください。

1. 所定の用途以外には使用しない。
2. 作業場所は充分に換気する。
3. 取り扱い中は皮フにふれないように注意し、保護具を着用する。
4. 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。
5. 皮フに付着した場合はすみやかにふき取り、石ケンと水でよく洗い落とす。痛みや外観に変化がある場合には医師の診察を受ける。
6. 蒸気などを吸い気が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にする。必要に応じ医師の診察を受ける。
7. 眼に入った場合は多量の水で洗い、必要に応じ医師の診察を受ける。
8. 保管条件：40℃以下。開封後はすみやかに使いきる。
9. 廃液は法令に従って処理すること。

※使用にあたっては、製品安全データシート（MSDS）をお読みください。

※本品は使用方法・使用条件によって本来の性能を発揮できない場合があります。事前に目的の用途に適合するか必ず確認の上、ご使用ください。（記載の性状等は2003年6月現在のものです。不明の点はお問い合わせ願います。）

国際単位系(SI)による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa・s、1kgf・cm=9.8×10⁻²J、1MPa=1N/mm²です。1N/mm²は約10.2kgf/cm²に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社

ボンド事業本部

大阪本社/大阪市中央区平野町2-1-2(沢の鶴ビル)
東京本社/東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア)

〒541-0046 TEL06(6228)2961 FAX06(6228)2927
〒101-0054 TEL03(5259)5737 FAX03(5259)2144

名古屋支店 TEL052(262)8173 FAX052(262)8175
福岡支店 TEL092(551)1764 FAX092(551)1545
札幌支店 TEL011(612)0211 FAX011(612)0219

仙台営業所 TEL022(211)5031 FAX022(211)4980
北関東営業所 TEL027(324)3002 FAX027(324)1187
厚木営業所 TEL046(229)9610 FAX046(229)9636

金沢営業所 TEL076(223)1565 FAX076(223)4794
広島営業所 TEL082(507)1911 FAX082(507)6676
高松営業所 TEL087(835)2020 FAX087(835)4623

SテD03-05



UPシール#700

1999.10.2000(O)98-FD
2003. 6.3000(T)41-FD
2005. 6.3000(T)39-FD